



市内の気になる話題をご紹介します。

## 5/19 「18歳選挙権」 新たな有権者に啓発

7月10日の参議院選挙から、選挙権年齢が18歳に引き下げられます。これを受けて、下呂特別支援学校の高等部3年生を対象に、選挙の出前講座が県・市選挙管理委員会の合同で行われました。生徒は選挙の意義や仕組みなどを学んだ後、投票を模擬で実施。「投票の仕方が不安でしたが、これで投票できそう。実際の投票には必ず行くようにしたい」と話していました。



実際に使用する投票箱や記載台を並べて模擬投票を行う生徒  
＝小川、下呂特別支援学校

## 5/22 「上原プロジェクト」が 田植え体験で"まちづくり"

上原地区の住民らで組織された「上原プロジェクト」が、田植え体験を催しました。

地元の子どもや、名古屋市など都市部の親子連れなど57人が参加。田植えを通じて、地元の子どもたちの郷土愛を育み、都市部の住民に上原地域の魅力を宣伝しました。

田植えが終わった後、みんなで昼食を取り、交流を深めました。  
(表紙記事)



晴天の下、泥でおぼつかない足元に奮闘しながら苗を植える参加者＝門和佐、上原山村広場

## 5/21.22 下呂市文化祭～26団体 150人が約500点を出品

下呂市文化協会連絡協議会の主催による「下呂市文化祭～第5回合同展示発表会」が催され、2日間で約600人が来場されました。

会場に、華道、書道、水墨画、写真、日本画、文芸、絵手紙、押し花、陶芸、草木染などの市内各種芸術団体の作品を一堂に展示して日頃の成果を披露。どれも見事な作品ばかりで、訪れた方は力作の前で足を止め熱心に眺めていました。



フルート演奏を聴きながら茶席を楽しむ来場者  
＝萩原町萩原、星雲会館

## 5/22 「ふるさと金山」が子どもに郷土 の良さを感じてもらおうと企画

NPO法人「ふるさと金山」が県美術館長でアーティストの日比野克彦さんを講師に招き、小学生を対象にした創作教室を開きました。保護者を含めた約160人が参加。子どもたちは、グループごとに協力してポスターを制作するため、素材集めで金山の町を散策することとなりました。自分たちの町の魅力を発見する切っ掛けづくりとなったようです。



金山の町を巡る中、山にある羅漢像を見付け写生する児童  
＝金山町金山、長福寺の裏山